

CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)春日井駅前ビル	階数	地下0階地上11階
建設地	愛知県春日井市上条町1丁目205	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	120人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年7月23日
敷地面積	515㎡	作成者	株式会社東横心・電建一級建築士事務所 金岡 健悟
建築面積	225㎡	確認日	2025年7月25日
延床面積	2,152㎡	確認者	株式会社東横心・電建一級建築士事務所 金岡 健悟

(外観パースが~~あり~~を添付すること)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Qのスコア = 2.7		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.6</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.5</p>
LR 環境負荷低減性		
LRのスコア = 3.4		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>4.1</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>2.8 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.1</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 (仮称)春日井駅前ビル

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		独自基準		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
3.2 グレア対策										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
4.2 換気										
4.3 運用管理										
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1.2 心理性・快適性										
1.3 維持管理										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振										
2.2 部品・部材の耐用年数										
2.4 信頼性										

3 対応性・更新性			0.2	3.4	0.29	2.4	2.4	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			-	-	-	1.8	1.8	-	0.50
1 階高のゆとり			-	-	-	-	1.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	-	-	3.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	-	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性			1.0	3.4	1.00	-	-	-	-
1 空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	-
配線方式:天井コログシ			-	-	-	-	-	-	-
配線方式:天井コログシ			-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30	-	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			独自③	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	4.0	0.40	-	-	-	4.0
春日井駅(視点場)からの良好な景観を形成している			-	-	-	-	-	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	2.0	0.50	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	2.0	0.50	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.89	3.0	4.1	0.30	-	-	4.1
2 自然エネルギー利用			-	3.0	0.20	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.65	3.0	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.0
1 水資源保護			0.1	2.4	0.15	-	-	-	2.4
1.1 節水			3.0	1.0	0.40	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.3	0.60	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	4.0	0.33	-	-	-	-
井水を洗浄水として全館で利用			-	-	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.1	0.63	-	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	2.0	0.05	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	4.0	0.24	-	-	-	-
躯体と仕上材を容易に分別可能			-	-	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.3	0.22	-	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.5	0.68	-	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			-	4.0	0.50	-	-	-	-
3 冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	-
ODP=0, GWP=3の断熱材を採用			-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			①	4.1	0.33	-	-	-	4.1
ライフサイクルCO2排出率70%			-	-	-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			0.3	2.7	0.33	-	-	-	2.7
2.1 大気汚染防止			-	5.0	0.25	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.0	0.25	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			独自	3.0	0.25	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			独自	3.0	0.25	-	-	-	-
3 交通負荷抑制			独自	1.0	0.25	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			独自	1.0	0.25	-	-	-	-
ボイラー、ガス給湯器等の燃焼機器未使用			-	-	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1 騒音			独自	3.0	1.00	-	-	-	-
2 振動			独自	-	-	-	-	-	-
3 悪臭			独自	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1 風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	-
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-	-
2 透光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	-

重点項目スコアシート
(仮称)春日井駅前ビル

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE:建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.1
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.1	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:2.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和
 重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用
 重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)春日井駅前ビル

計画上の配慮事項	
総合	JR春日井駅から徒歩4分の商業地域の用途地域に、ホテルをS造・地上11Fにて計画した。
Q1 室内環境	内装仕上げにF☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウス対策等、宿泊者の快適性に配慮した。
Q2 サービス性能	空調・給排水配管は、耐用年数の長い材質を採用した。
Q3 室外環境(敷地内)	春日井駅を視点場とし、周囲に調和する色彩とすることで、周辺の良い景観を形成している。
LR1 エネルギー	BEIm=0.65、LED照明設備を導入している。
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材を容易に分別可能とした。 洗浄水に井水を利用している。
LR3 敷地外環境	燃焼機器を使用せず、敷地外環境へ配慮した。
その他	特になし。